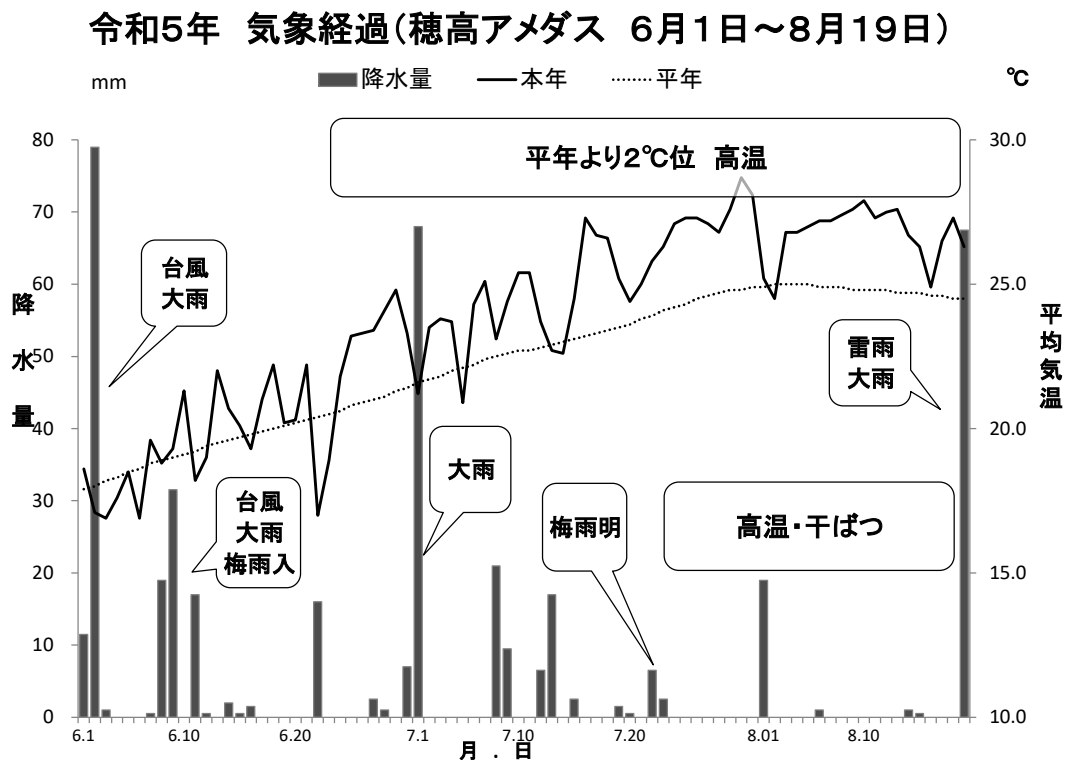


令和5年 作物技術普及情報 第13号

水稻の生育状況・収穫開始予測・水稻の高温対策 大豆の干ばつ対策について

1 気象状況



6月下旬以降、平年より2°C位高い高温が続いています。

8月18~19日に雷を伴う大雨がありました。降水が少ない地区(例：松本市神林等)もあります。このため全体的には高温干ばつ傾向が続いています。

今後も晴れの日が多く、平年より高温が予想されています。気象庁から「高温に関する早期天候情報」(8月21日付)が出されており、8月27日以降はかなりの高温が予想されています。

2 水稲の生育状況について

6月下旬以降の著しい高温の影響で、生育はかなり進んでいます。8月20日現在、現地の平坦地の早生品種（あきたこまち、美山錦等）は登熟終期です。4月末～5月上旬植のコシヒカリは登熟中期～登熟終期、5月中旬植のコシヒカリは中期、5月下旬植のコシヒカリは登熟初期～中期を迎えています。

出穂が早まった事に加え、登熟期間が高温なため、成熟期も平年よりかなり早まっており、生育は平年より10～7日程度進んでいると思われます。

3 水稲の刈り取り開始予測

出穂がかなり早まっており、平坦地・4月末～5月初旬植のコシヒカリの刈り取り開始時期は、9月初旬からが予想されています。また早生品種の刈り取り開始時期は8月下旬からが予想されています。

今後も高温が予想されていますので、刈り取り開始予測の「高温版」を重視していただき、施設稼働の計画や収穫計画にご活用ください。

標高別・移植日別の詳細は「8月20日現在の水稲刈り始め予測（平年並み版、高温版）」をご覧ください（ホームページにも掲載いたします）

【表は豊科定点圃場：標高540mの推定値（8月20日現在）です】

コシヒカリ 標高550m	苗質	推定出穂期						刈り始め予測日（出穂期以降 平年並みの気温）						苗質
		田 植 日						田 植 日						
		5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日	
稚苗	7月28日	7月30日	7月31日	8月2日	8月5日	8月8日	9月2日	9月4日	9月6日	9月8日	9月12日	9月16日	稚苗	
中苗	7月24日	7月26日	7月28日	7月29日	8月1日	8月3日	8月28日	8月30日	9月2日	9月3日	9月7日	9月9日	中苗	

**田植え日別
刈り始め予想**

▶

平年並 の場合

▶

平年より2℃高 の場合

刈り始め予測日（出穂期以降 平年より2℃高く推移した場合）							苗質
田 植 日							
5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日	5月25日		
8月30日	9月2日	9月3日	9月5日	9月8日	9月12日	稚苗	
8月26日	8月28日	8月30日	8月31日	9月4日	9月6日	中苗	

4 高温登熟障害対策について

早期落水は、胴割米・白未熟米の発生を助長します。今年の水稲は胴割れや白未熟の発生しやすい体質になっているので、早期落水は避けて下さい。

中干しが不十分な圃場の場合、出穂3週間以降～落水の間は、田面を保水させつつ土を固める「強めの間断かん水（例：2日湛水、2日落水）」をお願いします。

落水は、作業に支障のない範囲で極力遅くして、作業優先の早期落水は避けるようお願いします。松本管内の土壌（砂壤土）は乾きすぎるので注意してください。

また台風等によるフェーン現象で異常高温・極端な乾燥条件になると、十分に実る前に止葉が枯れ上り、玄米が細身になったり、白未熟・胴割米の発生が助長されるので、フェーンの場合は、落水中でも入水（走水）をお願いします。

5 大豆の干ばつ対策について

麦後大豆は概ね開花終期～莢伸長初期です。高温の影響で大豆の生育も7日程度進んでいます。生育は概ね順調ですが、高温干ばつの影響で葉のしおれや縮葉等の干ばつによる生育障害が出ている圃場があります。

8月18～19日等、局所的な大雨がありましたが、思った程の降水がない地区（松本市神林等）もあります。

今後もまとまった雨が期待できないと考えられますので、葉のしおれが目立つ場合は、必ず灌水を実施するようお願いします。灌水にあたっての注意事項は、技術情報12号をご覧ください。